

飲水思源

いんすいしげん

町長 松岡市郎

雪多き中「大雪水資源保全センター」竣工に思う

ノカナン地区にある大雪旭岳源水の源水汲み場から下手(しもて)、忠別ダム湖の最上流部に隣接して大雪水資源保全センターが竣工した。思い起こせば、このセンター建設のきっかけとなったのは、昨年の「3・11東日本大震災」から約1カ月後のことであった。

2年前、JAひがしかわとコープさっぽろの両者が提携し、組合員等が高齢化してもいつまでも安心して暮らすことができるよう、商品を自宅で購入できる「おまかせ便」システムをスタートさせた。この時駆け付けたのがコープさっぽろの山口敏文専務である。専務は今回の東日本大震災を例に挙げ、「命の源である飲料水を安定的に消費者へ届ける体制づくりが急務」「最高にバランスの良い水が供給されている大雪旭岳源水が最もふさわしい」と話したのである。その後話は急ピッチで進み、今回の竣工へと至ったのであるが、コープさっぽろの大見英明理事長、山口専務の崇高な勇断に敬意を表したい。

幸せなことに、東川町では安定した最高の伏流水を飲用水などとして利用している。水源の大半は、大雪山に毎年降る

雪である。雪の科学者、故中谷宇吉郎博士(北大名誉教授、1962年62歳で逝去)は、雪の結晶を「天から送られた手紙」と表現したが、随筆集(第3巻)の中に「大雪山の雪」と題して書き、「大雪山の積雪量を自衛隊の応援を求め、航空写真をベースに測ったところ、その量は1億9千万トンである」と記述されている。どの程度の量か具体的に思い浮かべることができないほどの量である。1947(昭和22)年から1948(同23)年にかけての調査であった。北海道の開拓は雪と寒さをどう克服するか、特に雪は厄介ものであった。外へ出ると寒さで体が震えるが、「もし雪がなかったら、大雪山がなかったら…」と想像すると身震いがする。この雪が安定した飲料水、温泉水、農業用水、発電用水などとして多目的に利用され、私たちの命と暮らしを守っている。ミネラル豊富なこの素晴らしい水資源の一部が、道民はもとより世界の人の命の源として供給できることは、平和社会への貢献でもある。雪をさらに生かすことを考えるとともに大雪山の自然の恵みに感謝したい。

その時監視員のリーダーをしていた仲間も、いつの日か「ロープがなくても、散策者がマナーを守って歩く姿見」を目指していた。働くうちに、そのロープにも慣れ、ロープの必要性や現状を理解したが、本来ロープの役割となるのは、やはり散策者、登山者それぞれの意識と、環境省やビジターセンター、民間の監視員やガイドによる取り組みであると思う。時間はかかることだろう。日本の文化や歴史、自然そのもの、そして国立公園管理組織や政治的な事情の違いのため、カナダと同様のシステムを導入することは難しいし、日本の自然や国民性、地元になじみ深い管理システムが必要であると思う。理想論かもしれない。しかし管理システム、そして現状の保全に関する課題に取り組むに当たって、ハードとともにソフト面にも注目してもいいのではないだろうか？

私が海外青年協力隊員としてケニアの国立公園へ派遣されていた時、カナダの国立公園の保護官たちがケニアの国立公園システムを見学しに来ていた。ケニアの保護官もカナダへ行っていた。大雪山とロッキー山脈。山岳エリアを有する町同士なのだから、山を通しての交流によって大雪山の課題に取り組むこともできるのではないだろうか？

青木 倫子

だいでつぎんのすがお

大雪山の素顔

山岳ガイド、旭岳ビジターセンター、自然解説員などで活躍する人々をリレーしています。高山植物、紅葉、雪、動物など「自然の大博物館」といわれる大雪山の素顔が見えてきます。

山を通しての国際的交流 ～国立公園管理について

道の駅・道草館でながさわ商店の長沢さんとお話する機会があった。東川町と姉妹町のカナダ・キャンモア町の話で盛り上がった。その中で、私がずっと思っていたことが、そっくりそのまま長沢さんの口から出た。

「大雪山に関わる人間が実際にキャンモアに行って、国立公園の管理について見た方が良い」。長沢さんがキャンモア町を訪れた際、現地のレンジャーが国立公園内を案内してくれた時の話をしてくれた。訪れる人のキャパシティ(容量)を考慮したうえで、散策路を柵やロープなどであえて囲わない場所がある理由などを一。

私が監視員として旭岳・姿見で働き始めた時、違和感を感じたことは、散策路脇のロープだった。散策者が、散策路をはずれてお花畑を踏み荒らさないように張られたロープだ。

★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています

文化交流館 新刊図書・ビデオ案内

貸出し期間は、図書は1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間です。返却期間を守りましょう(夜間返却窓口もご利用ください)。貸出し検索がインターネットで可能になりました(貸出し状況は画面に反映していません)。当館にお問い合わせの上ご確認ください。☎(直)82-4245 <http://www.lib-finder2.net/higashikawa/servlet/Index>

父の一粒、太陽のギフト

(一般書) 著/大門剛明 刊/小学館



小山大地は、ニートの末仕送りを止められ、水倉が経営する農業会社で働くことになった。初めは軽んじていた農業のおもしろさを次第に発見していく。しかしある日、水倉が死体となって畑で発見された。「うまい米を作る。質の良い野菜を作る。農業は、本当はクリエイティブでカッコいいはずだ」。そう訴え続けた若き天才農業者、水倉はなぜ死んだのか？

クロテン(児童書)

著/竹田津実 刊/アリス館



竹田津先生は獣医さん。皮膚病にかかった野生のタヌキを治療するために餌付けを始めたところ、タヌキではない新顔が現れるようになりました。それは灰色から黒褐色まで幅広い毛色をもつ森林性の動物、クロテン。森の臨時レストランや結婚ごっこなど、東川町の森の家に来てくる2頭のクロテンの様子を写真とともに物語った北国からの動物記。

ツレがうつつになりまして。(映画、DVD)

東映



仕事をバリバリこなすサラリーマンの夫(通称ツレ)が、ある日突然心因性のうつ病だと診断される。結婚5年目の妻、晴子は、ツレの変化にまったく気付かなかった。妻としての自分を反省する一方、うつ病の原因が会社にあったことが分かってツレに退社を迫る。会社を辞めたツレは徐々に体調を回復するが…。(121分)

俳句

小春日に縮んだ母の背を抱いて 愛犬の重さ遺る手日向ぼこ 天と地の鎮まりねがふどんどの炎 いつしかは吾も塵なり日向ぼこ 冬の灯のハモニカ長屋ドレミファド 荒るる日の過ぎし快晴日向ぼこ 日向ぼこ時のがさじと老二人 日向ぼこ壁に孫の絵笑ってる 姫らの競いてはしゃぐ日向ぼこ 八十路なり来世思ひし日向ぼこ 猫は猫我は我が位置日向ぼこ 外灯のつらら輝きシャンデリア 熱燗やいすが青春だと思ふ 冴ゆる月厨のぞきて帰り行く 日向ぼこ狐狸もさだめし日向ぼこ 大寒の里はますます寡黙なり 背負う兒の頬つべのぬくみ日向ぼこ	三島智 若田郁 秋山深 長谷川きみゑ 小林ろば 高橋公花 杉山ひろり 徳科吐苦 保科なほ 杉山ひろり 日向ぼこ 日向ぼこ 日向ぼこ 日向ぼこ 日向ぼこ 日向ぼこ 日向ぼこ 日向ぼこ 日向ぼこ 日向ぼこ 日向ぼこ	若田智 若田郁 若田深 若田きみゑ 若田ろば 若田公花 若田ひろり 若田吐苦 若田なほ 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり	若田智 若田郁 若田深 若田きみゑ 若田ろば 若田公花 若田ひろり 若田吐苦 若田なほ 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり	若田智 若田郁 若田深 若田きみゑ 若田ろば 若田公花 若田ひろり 若田吐苦 若田なほ 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり	若田智 若田郁 若田深 若田きみゑ 若田ろば 若田公花 若田ひろり 若田吐苦 若田なほ 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり	若田智 若田郁 若田深 若田きみゑ 若田ろば 若田公花 若田ひろり 若田吐苦 若田なほ 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり	若田智 若田郁 若田深 若田きみゑ 若田ろば 若田公花 若田ひろり 若田吐苦 若田なほ 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり 若田ひろり
---	---	--	--	--	--	--	--

